

縄南中通信



平成28年 4月12日 発行
2016年度 第1号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

平成28年度「縄南道」始動！本気で目指す「日本一」！

今年度、4月7日（木）の入学式では133名の新入生を迎え、翌日8日（金）には今年度初めて全校生徒が揃う始業式を行いました。新入生を迎えたことで、2、3年生には再度確認となりますが、「縄手南中学校は日本一を目指す学校であること」「勝つときには必ず勝因があり、敗れるときには必ず敗因があること」「勝因となる要素は一生懸命、ていねい、ひたむきであること」「敗因となる要素はいい加減、適当、だいたいであること」「今すぐ誰にでも実行できることが、返事！あいさつ！声！ダッシュ！！であること」を伝えました。新入生はこれらの意味をこれからしっかりと理解し、高い意識を持って挑戦できるようになり、2、3年生は再度これらの意味を確認し、さらに高い意識のもと、より高い目標を設定し挑戦して欲しいと思っています。

よく、「どうなれば日本一なのか。」と問われることがありますが、少なくとも縄南道に学ぶ全校生徒が「自分の力を全力で出し切っている」と言えなければ、また「自分にはどうも無理だ」と思っているようでは日本一ではないことははっきりとしています。始業式では次のような話をしました。全校生徒が大きな声で「おはようございます」とあいさつをしてくれました。このあいさつを例にとってみれば、4月8日には全国で多くの中学校が同様に始業式を迎え、同様に「おはようございます。」というあいさつをしているはずですが、この「おはようございます」というあいさつを、しっかりとやっているか、全力でやっているか、どんな意識を持ってやっているか等、「おはようございます」というあいさつを測る基準は様々です。縄手南中学校の全校生徒が、「自分たちのあいさつは果たして日本一であったのか。」ということ振り返り、日本一であるためにはしっかりと意識し行動すること、そしてその意識や行動がやがて習慣となり、さらにより高いレベルに達していく結果と繋がっていくことが『縄南道』が目ざす『日本一』だという意味の内容を伝えました。

さらに、単に声のトーンが大きいだけなら機械でもできますし、単にしっかりとということだけならそう難しくはありません。また、単に全力でというだけなら、いわゆる「やらされ」ならできます。『縄南道』が目ざすすべてのことには「心」がこもっていなければなりません。「おはようございます」「こんにちは」「お願いします」「ありがとうございます」等、あいさつは相手の心を開くものです。あいさつの中に込められた相手への感謝の気持ちや敬意の念がこもっていなければなりません。そうした感謝の気持ちや敬意の念がこめられ相手に伝われば、さらに気持ちの良いあいさつとなるでしょう。「心・技・体の研鑽」ですから、「心」がこもり、「作法」を知り、「体力」がついて大きな声を出せるようになれば、さらに素晴らしい「おはようございます」になるはずですが。縄手南中学校が目ざすものは『日本一』です。縄手南中学校というチームが一丸となって、新入生を迎えた平成28年度も「前進あるのみ！」です。縄手南中学校というチーム全員が一丸となって、

『返事！あいさつ！声！ダッシュ！！』を心がけ、日本一素晴らしいスタートダッシュを実行しましょう。

平成28年度は本校創立30周年、そして平成31年度には小中一貫義務教育学校開校へ！

本校は、「明るく、楽しく、美しく」をモットーに「心温かき人、感性豊かな人、たくましい人」を校訓として、「地域に開かれた学校」として1987年（昭和62年）に地域の皆様のご尽力をいただいで開校し、今年度で創立30周年を迎えます。そして現在は、そのモットーを『返事！あいさつ！声！ダッシュ！！』と進化させ、さらに教育活動の柱を『人格形成』とし、「心・技・体の研鑽」をもと『縄南道』の形成へと繋げています。後日、詳細はお伝えいたしますが、**11月13日（日）に創立30周年記念式典を開催する予定です。**

また、本校の「人格形成」を推進し、平成31年度には縄手南中学校と縄手南小学校が1つの学校となり、東大阪市では初めての小中一貫義務教育学校として新しい学校へと移行します。今年度より3年間は、その準備期間となります。小中一貫義務教育学校の開校については東大阪市ならびに東大阪市教育委員会より広報されることとなります。学校・保護者・地域が一体となって「当たり前前のことを当たり前前に実行できる子どもたちの育成」を目ざして進んでいきたいと考えています。

先生方の異動のお知らせ

縄手南中学校を去られた先生

高橋照明先生（保健体育・シカゴ日本人学校へ）、光岡洋先生（美術・石切中へ）
檜垣裕一先生（数学・孔舎衙中へ）、入口真奈美先生（英語・意岐部中へ）
山田大蔵先生（社会・泉大津市立東陽中へ）、山口真里奈先生（英語・小阪中へ）
Christopher Ferrazzutti 先生（ALT・カナダへ帰国）

前久保智博先生（社会・高槻市立第九中へ）、小川剛史先生（国語・柏原市立桜坂小中へ）

縄手南中学校に来られた先生

向井裕貴先生（保健体育・意岐部中より）、松島みどり先生（国語・玉川中より）
村井千英美先生（英語・玉川中より）、石田直樹先生（社会・八尾市立高安中より）
清家大地先生（数学・守口市立大久保中より）、朝田忠幸先生（社会）
三室有里絵先生（美術）、光井梓先生（数学）、桑山真弓先生（英語・石切中より）

縄手南中学校アドバイザー紹介

日本一を目ざす縄手南中学校の教育活動の特徴として、様々な側面から支援・指導いただけるスタッフの先生方をお招きしています。本校ではアドバイザースタッフとして授業やクラブ活動、委員会活動、生活指導等に助言いただいています。

澤井幸男先生（元大阪府警警察官、本校学校協議会委員）、
乾龍介先生（元朝日放送アナウンサー、本校学校協議会委員）
岸本恵一先生（大阪産業大学アメリカンフットボール部アスレチックトレーナー）
竹中淳子先生（元ラジオ大阪制作スタッフ、元FMちゃおアナウンサー）、
旭堂南青先生（上方講談師）
神代千穂先生（元OSK所属、現ダンスインストラクター）、
吉田誠先生（奈良教育大学教職大学院教授）、中務充起代先生（元東大阪市小学校校長）、
早見直美先生（大阪市立大学院特任助教）、水野治久先生（大阪教育大学教授）、
石田直樹先生（本校社会科講師、元八尾市中学校教諭、元大阪府中体連準硬式野球専門委員長）、

クラブ等の主な記録

女子バレーボール部

第25回東大阪市民体育大会1年女子の部 第3位（縄手南・縄手合同チーム）